

# 幸 橋

<平戸小学校だより7号>

～思いやりのある子供～  
～自ら考え工夫する子供～  
～たくましい体と実践力のある子供～

令和4年7月5日  
平戸市立平戸小学校  
文責 校長 山村昭文



## 教育週間

20日(月)から1週間「教育週間」を実施しました。授業参観・懇談会には多くの保護者の皆様においでいただき、ありがとうございました。初日の朝会は、今年度初めて体育館に全校児童を集めて行いました。校長講話で、現在のウクライナでの戦争に触れ、世界で今も絶え間なく戦争が繰り返されていること。国と国のケンカは戦争につながることを、戦争によって多くの尊い命が失われていることなどを知らせました。そして、自分たちの普段の生活の中で相手を思いやることの大切さを話しました。かけがえのない命は、自分だけのもではなく、祖先・子孫とつながる唯一無二の命であることを「相田みつを」さんの詩を通して伝えました。

自分の番いのちのバトン

父と母で二人  
父と母の両親で四人  
またその両親で八人  
こうして数えていくと  
十代前で千二十四人  
二十代前では一？  
なんと百万人を超すんです  
過去無量のいのちの  
バトンを受けついで  
いまここに自分の番を  
生きている  
それがあなたのいのちです  
それがわたしのいのちです

相田みつを



## メディアコントロール

15日(水)から21日(火)の期間に、平戸中学校区3校の共通の取組として「メディアコントロールチャレンジ」を実施しました。内容は、テレビやゲームなどのメディアの適切な利用や睡眠時間の確保に関するものでしたが、御家庭での様子はどうだったのでしょうか。少し前までは、メディアといえばテレビやゲームという感覚でしたが、今やスマホにタブレットが普通に使われるようになり、必要な情報収集の道具として利用されています。そして、遊びの道具としての利用と区別しづらくなっています。今やこのような機器を使わないという選択は難しくなっています。便利な道具として、コミュニケーションツールとして適切に使えるようになっていかなければなりません。しかし、ルールを守らなかったり、やり過ぎたりすることは決してよくありません。

## 授業参観

21日(火)は1・3・5年生、22日(水)は2・4・6年生の道徳の授業参観を実施しました。4月の授業参観をコロナの影響で中止してしまいましたので、今年度、初の教室での授業参観となりました。1学期中に何とか参観・懇談の機会が持てたことは大変良かったと思います。先週からコロナの状況を見ながら、PTA活動として学年レクリエーションを行った学年もあります。できる状況のときにしてあげたい。という保護者の皆様の思いで取り組んでいただいているものと思います。最近、コロナ禍においても対策をしながら活動を進める動きが出てきています。感染状況に応じた対策を図りながら進めていただきたいと思います。



## 5年生田植え

28日(火)に5年生が田植え体験をさせていただきました。今年も丸田建設の丸田様の御支援のお陰で実施することができました。子供たちに田植えの経験を訪ねると半数以上の子供が初めてだということでした。今や平戸でも田植えの体験は、学校での体験が多いということは寂しい気もします。豊かな自然に恵まれていても、それに触れる機会は簡単にはないようです。丸田様の長年の御支援で、どれだけ多くの子供たちが田植えや稲刈りの貴重な体験をすることができたことでしょうか。学校からお礼を申し上げるのは勿論ですが、保護者の皆様もお会いする機会があれば、感謝の言葉をお伝えください。

